

日本語ボランティア養成講座

磐田市日本語教室では、近所に暮らす外国人が日本人と一緒にやさしい日本語でのコミュニケーションを学んでいます。外国語ができなくても大丈夫。楽しく話して交流する日本語教室と一緒に活動しませんか？

日時：7月9日(日)～10月7日(土)

全8回 13:30～16:00

対象：外国人の方と話すことに興味があり、講座終了後、日本語教室で活動できる方

費用：無料



詳しい日程や講座の内容については、HPをご覧ください。

会員募集

会員になって、いろいろな国の方と友だちになりませんか。

【年会費】

個人会員……………1,000円	家族会員……………2,000円
団体会員……………5,000円	賛助会員……1口10,000円

【会員特典】

会報誌「いわたICE NEWS」をお届けします。
協会のイベントや講座の情報をお知らせします。
当協会主催の講座やイベントの参加費を割引します。

富士山に登ろう!2023

近隣に住む外国人の方と富士登山に挑戦しませんか？

日時：8月5日(土)集合16:15～6日(日)解散16:30

※荒天の場合は中止いたします。

目的地：御殿場口より富士山頂

募集人員：35人まで

参加費：交通費、保険料

(参加人数によって変動)

申し込み締切：7月14日(金)まで

登山に必要な装備(雨具、トレッキング

シューズ、軽食、水分など)は各自で

用意ください。

お申し込みは、お電話、HPのお問合せフォームよりお願いします。

インターナショナルフェア2023

今年度は、2023年11月11日(土)、12日(日)の2日間にわたり、ららぽーと磐田で開催します。そこでボランティアとしてフェアに関わってくださる方を募集します。

【インターナショナルフェアの企画・運営】

7月～11月まで月に1回程度の準備

会に参加し、フェアを盛り上げましょう!

【前日、当日のお手伝い】

イベントのお手伝い、案内係等参加希望の方は、HP、お電話よりお願いします。



インターナショナルフェアについて紹介中です。ボランティアの申込みもできます。

賛助・団体会員の皆様(敬称略・50音順)

【賛助会員】
株式会社ITC、学校法人静岡理科大学浜松日本語学院、ジ・オーシャン株式会社、太平工業株式会社、浜松いわた信用金庫、ヤマハ発動機ビズパートナー株式会社、株式会社ルマンオート
【団体会員】
磐田市自治会連合会、磐田市文化協会、一般社団法人磐田青年会議所、磐田ユネスコ協会、有限会社兼子鉄工所、国際ソロプチミスト磐田、静岡産業大学、JAAC日米学術センター、丸西機械株式会社、株式会社ライトハウスエデュケーション



あなたも日本語教師になりませんか?
〈日本語教師養成講座〉

詳しくはコチラをCHECK!


＼毎週土曜日／
「オープンスクール 説明会&授業見学」
毎月開催。まずはお問い合わせを。



学校法人 静岡理科大学
浜松日本語学院
Hamamatsu Japan Language College

浜松市中区中央3-10-8
浜松日本語学院
(担当:鈴木/秋山)

Tel. 053-450-6590



一般社団法人
磐田国際交流協会

ホームページ
<http://www.iwataice.jp>



facebook
<https://www.facebook.com/iwataice>



〒438-0086 磐田市見付2989番地3 (ワークピア磐田1F) TEL・FAX: 0538-37-4988 (平日 9:00～17:30)

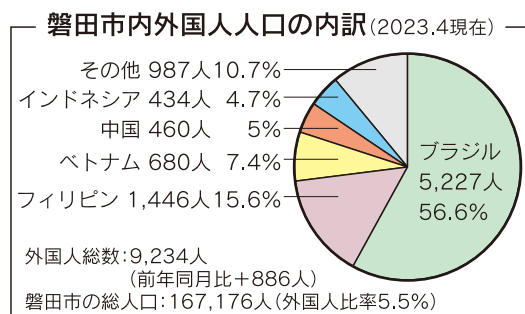
【英語の名言】 Keep your face to the sunshine and you cannot see a shadow.

「顔をいつも太陽のほうにむけていれば、影なんて見なくて済むはず」～ヘレン・ケラー～

一般社団法人
磐田国際交流協会会報 回覧

IWATA ICE NEWS

2023. 7
vol. 51



災害に備える ～水防演習に参加～ 5月28日



磐田市内に住む外国人4名が水防演習に参加し、炊き出しを行いました。

ベトナムから来た女性が慣れた手つきでパック詰めをする様子を見て、地域の方から「上手だね」との声。その言葉に「役に立てたかな」と笑みが

こぼれていました。磐田市の人口の約5%が外国人であり、災害発生時には、言語や文化に応じた支援が必要となります。お互いに顔を合わせた訓練を行って、災害の備えをすることが大切であると感じました。

2023年度 総会・交流会

6月4日(日)

静岡産業大学にて本年度総会が行われました。
2022年度事業報告、決算報告、2023年度事業計画、予算案などが審議され、すべての議案が承認されました。

また、2名の理事が辞任され、新しい理事には右記の4名が選出されました。

総会後は、4年ぶりとなる交流会が開かれました。司会の二人が登場すると、一気に和やかな雰囲気包まれ、ゲームが進むことに笑いの絶えない会となりました。クイズ大会では、磐田市の外国人に関する問題が出題され、楽しみながら現状を知ることができました。



渡邊カルロスさん



川端奈津子さん



山田祐美さん



藤原孝一さん

【新任(敬称略)】

理事 川端 奈津子

理事 藤原 孝一

理事 山田 祐美

理事 渡邊カルロス

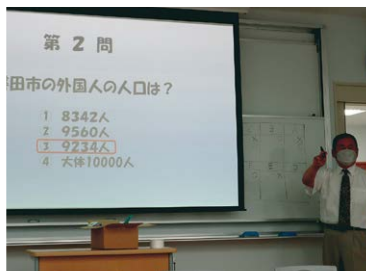
静岡産業大学経営学部准教授
国際交流委員会副委員長
磐田市自治会連合会磐田支部長
磐田市多文化交流センター長
SHIZULATINOS代表
磐田市外国人情報窓口責任者



▲ドキドキ！古今東西ゲーム
風船を持つとなぜか答えが浮かびません



お絵描き伝言ゲームでは、
芸術的な絵が誕生



第2問
田市の外国人の人口は？
1 8342人
2 9560人
3 9234人
4 大勢10000人



▲チーム対抗で楽しく交流しました



▲クイズ大会

いわたICEカレンダー

通年事業	5月	●地域の日本語教育支援 日本語能力試験対策クラス	●●磐田市日本語教室こどもクラス
		●いわた減災ネットワーク連絡会への参画	～こどもにほんごひろば～ 前期：5月～9月 後期：11月～3月
通年事業	6月	●i-TABO いわた多文化防災の会	●●にほんごボランティア体験会(5月～6月)
		●●外国人児童生徒等学習支援事業	28日 ●水防演習への外国人参加
通年事業	7月	●●放課後児童クラブ外国人児童生活支援事業	4日 ●●総会・交流会
		●通訳・翻訳事業	26日 ●●磐田・袋井・掛川インターナショナルフェア2023実行委員会(6月～12月まで全5回開催)
通年事業	8月	●リユース学用品、制服の提供	●●日本語ボランティア養成講座(7月～10月)
		●磐田市多文化共生社会推進協議会への参画	●●日本語支援者スキルアップ研修(8月～3月)
5月	9月	●ホームページ・Facebookの運営	●●多文化富士登山
		●会報誌発行 vol.51(7月)・52(11月)・53(3月)	●●地域防災訓練への外国人参加
5月	10月	●●磐田市日本語教室入門クラス～はじめよう!にほんご～	●●ニューイヤーパーティー
		●●磐田市日本語教室初級クラス～あつまれ!にほんごひろば～	
5月	11月	●●磐田市日本語教室初級クラス～あつまれ!にほんごひろば～	
		●●磐田市日本語教室初級クラス～あつまれ!にほんごひろば～	

●…協会運営 ●…グローバルネットワーク構築 ●…多文化共生 ●…交流促進 ●…広報活動 ●…受託事業

日本語教室でボランティアをしてみませんか?

磐田市日本語教室のボランティアは、日本語支援者として学習者とやさしい日本語でおしゃべりをします。興味がある方は、教室の見学や体験から始めてみませんか?5月28日にワークピア磐田で行われた「にほんごボランティア体験会」の様子から、日本語支援者に登録するまでの流れをご紹介します。

STEP1

オリエンテーション

磐田市に暮らす外国人の現状・対話
交流型日本語教室について説明。
やさしい日本語での対話を体験。

STEP2

教室体験

初級クラス「あつまれ!にほんごひろば」
に参加し、学習者の方と4～5人で
おしゃべり。

STEP3

振り返り・登録

希望する方は、教室毎にボランティア
登録。ご自身の都合に合わせて
参加いただきます。

参加者の声

自由な雰囲気でした。
自由な会話から日本語
が理解できるのだと思
いました。

相手に伝わらなかった
時に、言い方を変えてみ
ました。それでも伝わら
なかった時に、絵を描い
たら伝わりました。

日本語教室のボランテ
ィアという感じではな
く、私自身が楽しくお
しゃべりをさせていた
だきました。

とても楽しかったです。
学習者さんが勉強熱心
で、びつくりしました。

※参加を希望する方は、協会ホームページまたはお電話にてお問い合わせください。

「多文化SHIZUカップ ダイバーシティサッカー交流会 磐田市長杯」

3月11日(土)

晴天に恵まれ、竜洋スポーツ公園サッカ―場で、様々な国の人が参加してサッカー大会が開かれました。
磐田市日本語教室からも、ブラジルやベトナムの学習者と支援者たちがチームを組んで出場!子どもから大人まで、ごちゃまぜになって交流を楽しみました。



多言語絵本読み聞かせ ワークピア磐田祭

～一箱本棚古本市～ 3月12日(日)

ワークピア磐田祭にて一箱本棚古本市が行われ、磐田国際交流協会は、多言語の絵本を揃えて出店しました。当日は、多言語絵本読み聞かせを開催し、ポルトガル語、フランス語、ベトナム語、中国語、日本語の絵本を地域住民の方たちが読んでくれました。
多言語での読み聞かせは、参加者が外国語のおもしろさや違いに触れるだけでなく、外国にルーツを持つ人たちが母語を使って活躍する機会にもなります。家庭の中だけでなく、地域の中でも母語に触れる場を提供し、その大切さを呼びかけたいという想いから行っています。



言葉が分からなくても、読み手や絵から気持ちが伝わってきました